



(題字 渡辺義人)

令和元年 KCジャパンは 愛犬家と犬たちに寄り添った 革新的な改革で 生まれ変わります

会員の皆様、新たな時代「令和」の幕開けおめでとうございます。

昭和48年の当協会発足当時から掲げてきた「人と動物がよりよい関係で共生できる社会」の理念を実現するため、これまでも「犬のおまわりさん」のボランティア活動や災害救援募金活動、展覧会やイベントの開催を通じ、愛犬と楽しみながら実行できる犬の社会進出と市民権の拡大に努めてきました。

近年、当協会の提唱してきた「犬は家族の一員、パートナー（伴侶犬）」という認識は社会に定着し、愛犬家の意識も格段に向上してきました。

今ペット業界では、遺伝病の根絶に向けて動き始めています。当協会においても、賛助会員であるペットパーク流通協会ではすでに一部犬種については繁殖する親犬の遺伝子検査義務付けが始まっており、大手販売店でも子犬の遺伝子検査を実施して販売するところもあり、同業大手数社も同調する様子です。

このような動きは社会の要請でもあり、日本社会福祉愛犬協会では、すべての愛犬家とパートナーの犬たちの幸せな暮らしを願い革新的な改革をめざして果敢にチャレンジしてまいります。

新しい時代「令和」の改元記念事業として、おそらく世界で初めてとなる、血統証書に遺伝子検査情報を記載した、安全と安心の付加価値の高いプレミアム血統証書を発行いたします。

会員の皆様には、人と犬との理想の未来に向けた取り組みをご理解いただき、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

NPO法人日本社会福祉愛犬協会
理事長 渡辺義人